過去4週間の移動を聞く。

歩ける距離ではなく、実際に移動した生活空間を記録します。

氏名・ID：_____　評価日：_____

対象期間：_____年___月___日 ~ _____年___月___日（4週間）

回答者・情報源：_____　使用版・評価者：_____

頻度F：1＝週1回未満　2＝週1–3回　3＝週4–6回　4＝毎日

到達あり＝1 / なし＝0。未確認は「？」とし、0で埋めない。

同日に何度も移動しても「毎日」の4を超えません。

01　聞き取った元の回答（補正前）

生活空間レベル	到達0/1	頻度1–4	補助具 有無	人的介助 有無
1　家の中（寝る場所以外）				
2　自宅のすぐ外・敷地内				
3　自宅近隣（敷地・建物外）				
4　近隣を越えた町内				
5　町外				

自立度Iの配点（補助具と人的介助から決定）

人の介助あり：1　/　補助具のみ：1.5　/　どちらも不要：2

人の介助があれば、補助具の有無にかかわらず1です。

具体的な行き先・近隣 / 町の範囲：

質問の詳細と採点原則：原田ら（2010）付録1・2、p.536。

回答を確認し、合計する。

原田ら（2010）付録2の補正を踏まえ、元の回答を残して整理します。

02　補正の方向を確認

到達・頻度：外側から内側へ（5 → 4 → 3 → 2 → 1）

外側に到達ありなら内側も到達あり。内側の頻度が外側より低ければ、
外側の頻度にそろえます。

自立度：内側から外側へ（1 → 2 → 3 → 4 → 5）

内側で人の介助が必要なら外側も1。補助具が必要なら外側は
人的介助ありの1を優先し、それ以外は1.5にそろえます。

矛盾・判断困難な回答は状況を再確認。未確認を推測で補完しません。

補正後の値	到達A	頻度F	自立度I	点数 L×A×F×I
レベル 1（L = 1）				
レベル 2（L = 2）				
レベル 3（L = 3）				
レベル 4（L = 4）				
レベル 5（L = 5）				

合計：_____ / 120 点

□ 算出済　□ 未算出

未到達レベルは0点。頻度・自立度が不明なら、計算は保留します。

補正・未算出の理由：_____

確認例：8 + 12 + 9 + 4 + 0 = 33点（記事の架空例）

出典：原田和宏ほか．日本公衆衛生雑誌．2010;57:526–537. 付録2

https://doi.org/10.11236/jph.57.7_526

行き先と支援の変化を残す。

合計点と一緒に、生活範囲・頻度・支援・本人の目標を比較します。

氏名・ID：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　面談日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

比較項目	前回	今回
評価日・対象4週間		
LSA合計 /120		
最大到達レベル 0–5		
主な補助具・人的支援		
天候・入院等の背景		

本人が行きたい場所 / 何をしたいか

行けない理由 / 必要な支援・移動手段

次に試すこと / 担当 / 再評価日

点数のために補助具や介助を外さない。

積雪・天候・交通・外出機会の変化を、身体機能の変化と区別して記録。